

【中学校国語】

教科に関する調査の結果概要及び改善の方向性等について

本校の概要

【領域】

□【知識及び技能】の「情報の扱い方に関する事項」は全国平均をやや下回っている。

□【知識及び技能】の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「我が国の言語文化に関する事項」については全国平均を下回っている。

□【思考力、判断力、表現力等】の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」については全国平均を下回っている。

今回の調査における課題

・自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すこと。

・根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるよう工夫すること。

・行書の特徴や、読みやすい書き方、調和のとれた仮名の書き方について理解すること。

・聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する。また、論理の展開などに注意して聞くこと。

・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉え、解釈すること。

改善の方向

・どのように工夫すると相手に伝わりやすいか考えながらスピーチし、聞き手との交流を図る活動の充実

・本や資料から引用する際のルールに気を付けながら、事実やそれを基に考えたことを書く活動の充実

・楷書と比較して行書の特徴を理解できるよう交流したり、読みやすい字形や文字の大きさ、配置などについて助言し合ったりする活動の充実

・自分の考えが伝わりやすいよう、聞き手に応じて音声の働きや仕組みを意識しながら話し方を工夫する活動の充実

・場面の展開や登場人物の相互関係や心情の変化などについて、描写を基に捉えて内容を理解し、考えたことを根拠をもって伝え合う活動の充実

記号の意味

(△) 上回っている

(◇) やや上回っている +3ポイント

ほぼ同程度 ← 全国平均正答率

(◆) やや下回っている -3ポイント

(▽) 下回っている

* 「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。